

オーストラリア研修

9、10日目（3月15、16日）

昨日（8日目）の土曜日は、各ホストファミリーと一日過ごした。でも、連れて行ってもらった場所は同じ場所が多く、コフスハーバーにある観光名所でありアミューズメントパークの「THE BIG BANANA」では数家族に逢った。そのほか、コフスハーバーを一望できる展望台があり、野生のコアラが棲む山や、野生のカンガルーが何十頭もいる海岸に行った家庭も数軒いた。それ以外にも、何軒かのホストファミリーと一緒に Jetty に集まり、栈橋から飛び降りて遊んだ。別の海岸でサーフィンを楽しんだ家庭もあった。



このように、それぞれ思い出がいっぱいできたのでホストファミリーとの別れがとても辛く、翌日のコフスハーバー空港では何人も涙がこぼれてしまった。今回の出会いを大切に、これからもメールなどで交流を続けていきたい。

日本に発つ前に、シドニーのタロンガ動物園へ行った。この動物園はオーストラリア最大級の広さがあり、動物の種類も多い。全部回れないかもしれないので、日本ではなかなか見られない動物を優先的に見た。コアラは寝ていたが、間近に見ることができた。カンガルーはもちろん、タスマニアデビルやウオンバット、カモノハシ、クオッカなども見ることができた。オーストラリアには有袋類など、固有の動物が何種もいるので、特にシドニー空港では入国審査が厳しいのだと改めて思った。



行きと異なり、帰りは予定通り飛行機が飛び、気流が良かったのか、羽田空港へは50分早く到着した。しかし、預けたスーツケースがなかなか出てこず、しかも、2人のスーツケースが破損していた。そのため、スーツケースが破損していたことを空港内で申告しなければならず、破損証明書を書いてもらうのに時間がかかり、東京駅で新幹線に乗るまでの時間に余裕がなかった。無事新幹線に乗れるとほっとして、帰りの新幹線の中では眠っている人が多かった。富山駅では校長先生や学年主任の先生、SSH 担当の先生方、保護者の皆さんが私たちの帰りを待っていてくれて、無事に帰ってこられたことにほっとした。



あっという間の10日間だった。このような貴重な経験をさせてくれた家族に感謝をしたい。そして、オーストラリアで経験したことをたくさん話したい。まず、何から話そうかな。